

# 令和3年度

## 1 2月補正予算の主な事業説明書

諫 早 市

## 目 次

※第2次諫早市総合計画の政策・施策体系にもとづき整理したもの。

【 】書は、政策・施策体系図の「基本目標」、◎印は「基本政策」

ページ

### 【輝くひとづくり】

#### ◎健やかなひとづくり

G I G Aスクール整備事業（関連機器整備）…………… 1

### 【計画実現に向けた基本姿勢】

#### ◎市民目線の行政

大学施設機能強化支援事業…………… 2

大学学費減免緊急支援事業…………… 3

災害復旧事業一覧表…………… 4

# GIGAスクール整備事業（関連機器整備）

## 総合計画の位置付け

【輝くひとづくり】 ◎健やかなひとづくり

## これまでの経緯及び目的

GIGAスクール構想で整備した児童生徒1人1台のパソコンによる学習を家庭でも行うことができる体制を構築し、家庭学習を充実させるとともに、非常時や長期欠席児童生徒の学びを保障し、児童生徒の学習意欲と学力の向上を図る。

## 事業概要

- 《事業主体》 諫早市  
《事業期間》 令和3年度  
《事業内容》 令和4年度から家庭でもパソコンによる学習ができるようにするため、インターネット環境が整っていない準要保護世帯等に貸し出すモバイルルーター本体と、遠隔授業用のWEBカメラ・マイクスピーカー等を整備する。

## 事業費

12月補正事業費	4,400千円
(財源内訳) 国庫支出金	3,195千円
一般財源	1,205千円

## 年度別事業内容

2年度以前	3年度	4年度以降
	12月補正	
<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコン購入</li><li>・校内における学習系ネットワークの構築</li><li>・大型提示装置の配置</li></ul> ※2年度繰越事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・モバイルルーター本体の整備とWEBカメラ・マイクスピーカー等の機材を購入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコンを活用した家庭学習の実施</li></ul>

## 事業実施による効果

パソコンを活用した家庭学習と遠隔授業を実施できる体制を構築し、平常時のほか臨時休業・学級閉鎖などの非常時や長期欠席児童生徒の授業参加を可能とすることにより、子どもたちを誰一人取り残すことのない学びを実現する。

## 事業担当課

教育委員会 学校教育課

# 大学施設機能強化支援事業

## 総合計画の位置付け

【計画実現に向けた基本姿勢】 ◎市民目線の行政

## これまでの経緯及び目的

市内唯一の大学である鎮西学院大学とは、まちづくりに関する連携協定を締結し、「地域とともにある大学」として各種審議会への委員就任や学生ボランティア等を通じ市政推進に協力を得ている。

今般、学校法人鎮西学院が国庫補助事業を活用して行う鎮西学院大学の大学校舎耐震改修について、本市独自の支援を実施することにより、学生が安心して学ぶことができる環境整備並びに大学の機能強化による連携拡大を図る。

## 事業概要

- 《事業主体》 学校法人鎮西学院
- 《事業期間》 令和2年度～3年度
- 《事業内容》 大学校舎耐震改修に係る経費のうち、学校法人鎮西学院負担分の1/2以内を支援
  - ◎補助対象経費 490,438千円
  - 学校法人負担分 245,219千円
    - ・学校法人 123,219千円
    - ・市補助（学校法人負担分の1/2以内） 122,000千円  
【上限額：122,000千円】
  - その他（国庫補助） 245,219千円

## 事業費

12月補正事業費	122,000千円
（財源内訳） 一般財源	122,000千円

## 年度別事業内容

2年度以前	3年度
	12月補正
・学校法人鎮西学院が取り組む大学校舎耐震改修に係る支援（債務負担行為）	・学校法人鎮西学院が取り組む大学校舎耐震改修に係る支援

## 事業実施による効果

市が大学施設機能強化のための支援を行うことにより、学生への支援はもとより、学生及び教職員の安全安心とともに大学の機能強化が図られ、学生に対する魅力の向上及び本市とのさらなる連携強化につながる。

## 事業担当課

政策振興部 企画政策課

(3款-1項-1目-政策企画事務)

# 大学学費減免緊急支援事業

## 総合計画の位置付け

【計画実現に向けた基本姿勢】 ◎市民目線の行政

## これまでの経緯及び目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し経済的に修学困難となった学生に対し、国の補助制度を活用して大学が新たに実施する学費減免について支援を行い、学生の修学機会確保を図る。

## 事業概要

《事業主体》 学校法人鎮西学院

《事業期間》 令和3年度

《事業内容》 新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し経済的に修学困難となった学生に対する新たな学費（教育充実費）の減免に対する支援

◎補助対象経費	13,320千円
○学校法人負担分	4,440千円
・学校法人	2,220千円
・市補助（学校法人負担分の1/2以内）	2,220千円
○その他（国庫補助）	8,880千円

## 事業費

12月補正事業費 2,220千円

（財源内訳） 一般財源 2,220千円

## 年度別事業内容

2年度以前	3年度
	12月補正
学費減免に対する支援	学費減免に対する支援

## 事業実施による効果

経済的に修学困難となった学生の負担が軽減され、修学機会の確保につながる。

## 事業担当課

政策振興部 企画政策課

## 災害復旧事業一覧表

豪雨により被災した農地、農業用施設及び公共土木施設の災害復旧事業

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳	事業内容	担当課
農地農業用施設災害復旧事業 (現年災)	94,100	県支出金 82,470 地方債 10,300 一般財源 1,330	農地・農業用施設の災害 復旧 農地 25か所 施設 23か所 合計 48か所	農地保全課
農地農業用施設災害復旧事業 (過年災)	296,500	県支出金 266,100 地方債 24,200 一般財源 6,200	農地・農業用施設の災害 復旧 農地 83か所 施設 54か所 合計 137か所	農地保全課
土木施設災害復旧事業 (過年災)	20,000	国庫支出金 13,340 地方債 5,900 一般財源 760	公共土木施設の災害復旧 道路 1か所 河川 3か所 合計 4か所	道路課 河川課
合計	410,600			

(13款-1項-1目-農地農業用施設災害復旧事業)  
(13款-2項-1目-土木施設災害復旧事業)